

第 62 回 献血運動推進全国大会
第 2 回 実行委員会
次 第

日時：令和 8 年 3 月 2 4 日（火）

午後 1 時～午後 2 時

場所：鳥取県議会棟 3 階 特別会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 第 2 回実行委員会

第 1 号議案 令和 7 年度事業報告及び収支決算見込み（案）

第 2 号議案 令和 8 年度事業計画（案）

第 3 号議案 令和 8 年度収支予算（案）

報告事項 献血推進に係る機運醸成の取組状況

4 閉会

第62回献血運動推進全国大会第2回実行委員会出席者名簿

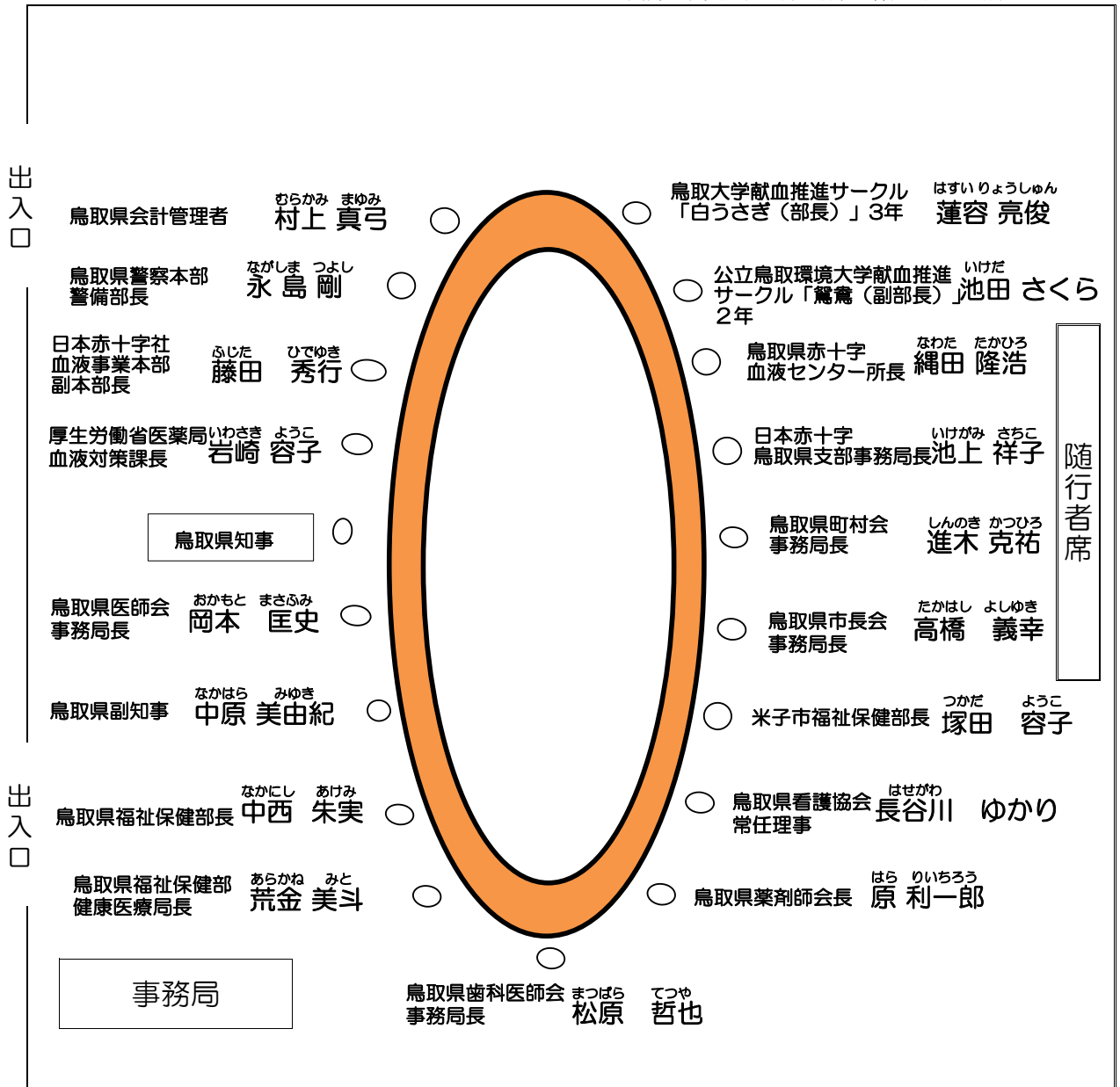
日時：令和8年3月24日（火）午後1時～

会場：鳥取県庁議会棟3階 特別会議室

所属・役職	ふりがな 氏名（敬称略）	＜代理出席者＞
鳥取県知事	ひらい しんじ 平井 伸治	
公益社団法人鳥取県医師会長	しみず まさと 清水 正人	事務局長 おかもと まさふみ 岡本 匡史
鳥取県副知事	なかはら みゆき 中原 美由紀	
厚生労働省医薬局長	みやもと なおき 宮本 直樹	血液対策課長 いわさき ようこ 岩崎 容子
にっぽんせきじゆうじしゃ 日本赤十字社血液事業本部長	きの しゅういち 紀野 修一	副本部長 ふじた ひでゆき 藤田 秀行
一般社団法人鳥取県歯科医師会長	わたなべ たかお 渡部 隆夫	事務局長 まつばら てつや 松原 哲也
一般社団法人鳥取県薬剤師会長	はら りいちろう 原 利一郎	
公益社団法人鳥取県看護協会会長	まつもと みちこ 松本 美智子	常任理事 はせがわ 長谷川 ゆかり
鳥取県市長会長	ふかざわ よしひこ 深澤 義彦	事務局長 たかはし よしゆき 高橋 義幸
鳥取県町村会長	しらishi ゆうじ 白石 祐治	事務局長 しんのき かつひろ 進木 克祐
米子市長	いぎ たかし 伊木 隆司	福祉保健部長 つかだ ようこ 塚田 容子
にっぽんせきじゆうじしゃ 日本赤十字社鳥取県支部事務局長	いけがみ さちこ 池上 祥子	
鳥取県赤十字血液センター所長	なわた たかひろ 縄田 隆浩	
鳥取大学献血推進サークル「白うさぎ(部長)」3年	はすい りょうしゆん 蓮容 亮俊	
公立鳥取環境大学献血推進サークル「鴛鴦(副部長)」2年	いけだ 池田 さくら	
鳥取県会計管理者	むらかみ まゆみ 村上 真弓	
鳥取県警察本部警備部長	ながしま つよし 永島 剛	
鳥取県福祉保健部長	なかにし あけみ 中西 朱美	
鳥取県福祉保健部健康医療局長	あらかね みと 荒金 美斗	

第62回献血運動推進全国大会第2回実行委員会 座席表

場所：鳥取県庁議会棟3階 特別会議室



令和7年度事業報告及び収支決算見込み(案)

○令和7年度事業報告

1 実行委員会及び幹事会の開催

- | | |
|-------------------|-----------|
| (1) 設立準備会 | 令和7年8月25日 |
| (2) 設立総会・第1回実行委員会 | 令和7年11月6日 |
| (3) 第2回実行委員会 | 令和8年3月24日 |

2 献血運動推進「標語」「ポスターデザイン」募集事業について

- | | |
|------------|--|
| (1) 応募期間 | 令和7年7月1日から同年9月30日まで |
| (2) 応募作品総数 | 「標語」 568点(281人)
「ポスターデザイン」 84点(84人) |
| (3) 表彰式 | 令和8年1月25日 ※大雪のため中止 |
| (4) 展示会 | 令和8年1月14日から同年2月27日まで 場所：県立図書館 |
| (5) 入賞作品 | 別紙のとおり |

3 大会運営・会場設営等委託業務受託者の選定

- | | |
|--------------------|-----------|
| (1) プロポーザル募集公告開始 | 令和7年12月1日 |
| (2) 審査会の開催、委託業者の決定 | 令和8年1月27日 |
| (3) 委託契約 | 令和8年2月25日 |
| (4) 委託事業者 | |

株式会社エムアンドエムドットコー、株式会社新日本海新聞社、
日本海テレビジョン放送株式会社、株式会社セレスポ共同企業体

※代表者：株式会社エムアンドエムドットコー

○令和7年度事業収支決算見込み

【収入】

(単位：円)

科目	予算額	決算額	比較増減	内訳
負担金	1,014,000	1,014,000	0	鳥取県負担金
合計	1,014,000	1,014,000	0	

【支出】

(単位：円)

科目	予算額	決算額	比較増減	内訳
総務費	724,000	125,542	598,458	実行委員会・幹事会開催費、事務局運営費
大会事業費	290,000	80,767	209,233	「標語」・「ポスターデザイン」募集事業費、 大会運営・会場設営等委託業務選考事業費
合計	1,014,000	206,309	807,691	

【繰越額】

第62回献血運動推進全国大会実行委員会会計規定第6条により、下記金額は令和8年度予算に繰り越しする。

1,014,000円(収入決算額) - 206,309円(支出決算額) = 807,691円(差引額)

献血運動推進「標語」・「ポスターデザイン」募集について

1 実施概要

区分	内容
主催	鳥取県（第62回献血運動推進全国大会実行委員会）
後援	鳥取県教育委員会、日本赤十字社鳥取県支部、鳥取県赤十字血液センター
対象者	県内の中学校、義務教育学校（中学校段階）、高等学校、中等教育学校、特別支援学校（中学部・高等部）、高等専門学校、大学、短期大学、専修学校、専門学校、各種学校に在学する生徒・学生（応募時点で30歳未満の者に限る。）
募集期間	令和7年7月1日（火）から同年9月30日（火）まで
募集結果	「標語」 568点（281人） 「ポスターデザイン」 84点（84人）
審査結果	令和7年11月20日開催の選考委員会で入賞作品を決定 「標語」 最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作5点 「ポスターデザイン」最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作5点 ※入賞作品は、入賞作品一覧のとおり

2 入賞作品一覧

(1) 「標語」 入賞作品一覧

【最優秀賞】

作品	学校名	学年	氏名
献血で 誰かに届く あなたの勇氣	鳥取市立青谷中学校	3年	おさき かの 尾崎 叶さん

【優秀賞】

作品	学校名	学年	氏名
つながる命、広がる想い、はじめよう献血	鳥取市立桜ヶ丘中学校	1年	おさき しゅんた 尾崎 俊太さん
やってみよう あなたの勇氣は だれかの笑顔	鳥取大学附属中学校	2年	まえかわ よつは 前川 四葉さん

【佳作】

作品	学校名	学年	氏名
特別な 力がなくとも 救える命	鳥取県立鳥取東高等学校	2年	いまいし ももね 今石 萌々音さん
献血で 繋ぐ命 紡ぐ明日	鳥取県立米子高等学校	2年	いわもと あのん 岩本 杏音さん
あつめよう みんなで 命の ともしびを	鳥取県立米子高等学校	2年	よどや のぶゆき 淀屋 伸行さん
献血は 笑顔を作る 希望の光	学校法人米子永島学園米子松蔭高等学校	3年	しもむら こたろう 下村 虎太郎さん
あなたの血がつなぐ、「命」と「ありがとう」	鳥取県立倉吉総合看護専門学校	2年	ゆきだ まな 行田 真那さん

(2) 「ポスターデザイン」入賞作品一覧

最優秀賞	優秀賞	
		
学校法人藤田学院 鳥取短期大学	鳥取県立鳥取看護専門学校	鳥取県立米子高等学校
1年	1年	2年
ひらお もな 平尾 萌菜さん	あさだ ちはる 浅田 千榛さん	すみだ こころ 隅田 心さん

佳作		
		
鳥取県立米子高等学校	鳥取県立米子高等学校	鳥取県立米子高等学校
2年	3年	2年
よねむら ゆうな 米村 優奈さん	もちつき まお 望月 麻央さん	ふくだ ことの 福田 琴乃さん
		
鳥取県立米子高等学校	学校法人米子永島学園 米子松蔭高等学校	
2年	2年	
いしまる りな 石丸 莉奈さん	ふたおか ちさき 二岡 千咲さん	

令和8年度事業計画（案）

1 第62回献血運動推進全国大会

開催日時 令和8年7月10日（金） 13時～15時30分頃
 場 所 米子コンベンションセンター（米子市末広町294）
 次 第 別紙1のとおり

2 アトラクションについて

別紙2のとおり

3 企画展示について

別紙3のとおり

4 記念品について

別紙4のとおり

5 献血功労者表彰に係る登壇者について

名称	授与（贈呈）者	登壇者
昭和天皇記念献血推進賞	日本赤十字社名	1名
昭和天皇記念学術賞	誉副総裁	1名
日本赤十字社金色有功章		1名（代表受領） ※鳥取県関係が受領
日本赤十字社銀色有功章		1名（代表受領） ※鳥取県関係が受領
厚生労働大臣表彰状	厚生労働大臣	1名（代表受領） ※鳥取県関係が受領
厚生労働大臣感謝状		1名（代表受領） ※鳥取県関係が受領
鳥取県知事感謝状	鳥取県知事	1名（代表受領）

※R8.4以降に受賞者、登壇者を決定。

6 寄贈品目録贈呈について

- ・鳥取県赤十字有功会会長（井木久博様） 採血ベッド用タブレット5台
- ・鳥取県赤十字有功会副会長（野津一成様） デジタルサイネージ3台
- ・鳥取県赤十字有功会 献血周知用タブレット2台

7 今後のスケジュールについて

- (1) 大会参加案内 令和8年4月中旬以降
 ※委託業者等より案内状発送予定
- (2) 運営体制整備・職員派遣依頼（※） 令和8年5月上旬
 ※県関係課、日赤鳥取県支部、県赤十字血液センター、米子市
- (3) プレリハーサル（式典の流れ等確認） 令和8年5月下旬～6月上旬
 ※登壇者等は代役（運営本部職員）で実施予定
- (4) 総合リハーサル（本番前の最終確認） 令和8年7月9日（木）
 ※登壇者及び出演者等は原則出席
- (5) 第62回献血運動推進全国大会 令和8年7月10日（金）
- (6) 第2回幹事会・第3回実行委員会 令和8年11月～12月
 ※令和8年度事業報告、決算及び残余金の処分、実行委員会の解散

第 6 2 回献血運動推進全国大会次第

〔ウェルカムアトラクション〕

※米子市内の「認定こども園あけぼの幼稚園」による和太鼓等の演奏により歓迎ムードを演出します。

1 第一部（式典）

- | | |
|-----------------------------|----------------------------------|
| (1) 開会のことば | 大会実行委員会副会長（鳥取県医師会会長） |
| (2) 国歌斉唱 | 参加者全員 |
| (3) 主催者あいさつ | 厚生労働大臣、日本赤十字社社長、鳥取県知事 |
| (4) おことば | 日本赤十字社名誉副総裁 |
| (5) 歓迎のことば | 鳥取県議会議長、米子市長 |
| (6) 功労者の表彰 | |
| ア 昭和天皇記念献血推進賞及び昭和天皇記念学術賞御授与 | 日本赤十字社名誉副総裁 |
| イ 日本赤十字社有功章御授与 | 日本赤十字社名誉副総裁 |
| ウ 厚生労働大臣表彰状及び厚生労働大臣感謝状贈呈 | 厚生労働大臣 |
| エ 鳥取県知事感謝状贈呈 | 鳥取県知事 |
| (7) 寄贈品目録贈呈 | 鳥取県赤十字有功会（会長、副会長、会代表者） |
| (8) 体験発表 | 鳥取大学医学部 高橋真衣さん
鳥取看護大学 森田さくらさん |
| (9) 献血のうた（手話付き） | 県西部地区の高等学校（JRC 部及び合唱部） |
| (10) 鳥取発のパフォーマンス | 鳥取県立米子東高等学校 |
| (11) 誓いのことば | 鳥取大学農学部 蓮容亮俊さん |

2 第二部（アトラクション）

- | | |
|---------------|-------------------------------|
| (1) アトラクション | |
| ア けんべい神楽 | 鳥取県立米子養護学校 |
| イ 赤十字奉仕団の活動報告 | 琴浦町東伯赤十字奉仕団
鳥取看護大学学生赤十字奉仕団 |
| ウ 若年層献血推進動画上映 | 県内大学の献血推進サークル（※調整中） |
| (2) 次回開催県あいさつ | 次回開催県代表 |
| (3) 閉会のことば | 大会実行委員会副会長（鳥取県副知事） |

〔会場内の企画展示〕

- 大会関係（標語・ポスター入賞作品等）に加え、献血推進活動、鳥取県の PR（食・観光）、本県の医療・福祉に関する紹介等、幅広いラインナップを予定。
- あいサポート・アートとっとり特別展（主催：鳥取県）を同時開催。
※平成 27 年度から開催している鳥取県障がい者芸術・文化作品展「あいサポート・アートとっとり展」の歴代優秀作品（絵画等）を特別展として一堂に展示する。

アトラクション・演目等

【選定基本方針】

- 日本赤十字・献血の関係者をはじめ、幅広い層の多くの方にアトラクションに参加いただける内容とする。
- 若年層の献血推進を図るため、若者のパフォーマンスを取り入れる。
- 鳥取県らしさや強みが発揮されるような内容とする。

選定

1 ウェルカムアトラクション（約20分）

[出演：認定こども園あけぼの幼稚園]

- ・開催地である米子市内の幼稚園児による和太鼓等の披露で歓迎ムードを醸成。

2 第一部 式典：「献血のうた（手話付き）」（約6分）

[出演：鳥取県西部地区の高等学校（JRC 部及び合唱部）]

- ・鳥取県西部地区にある高等学校 JRC 部員と合唱部員による手話を合わせた合唱。

3 第一部 式典：「鳥取発のパフォーマンス」（約7分）

[出演：鳥取県立米子東高等学校ダンス部]

- ・「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」出場実績のある県内高等学校による手話パフォーマンスを披露。

※鳥取県では、平成 25 年 10 月に全国初の「手話言語条例」を制定。「鳥取県手話言語条例」の理念を実現すべく、全国の高校生が手話言語を使った様々なパフォーマンスを繰り広げ、その表現力を競う「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」を平成 26 年から“手話の聖地”鳥取県で開催している。

披露曲：Mrs. GREEN APPLE「僕のこと」

※第 12 回全国高校生手話パフォーマンス甲子園で審査員特別賞を受賞

4 第二部 アトラクション（約50分）

アトラクション・演者	概要
① けんべい神楽「八岐大蛇（やまたのおろち）」 [出演：鳥取県立米子養護学校]	○郷土芸能である神楽を授業の一環として取り生まれ、同校の略称「県米（けんべい）」にちなみ「けんべい神楽」と命名した神楽をご披露。 ○ねんりんピックや米子がいな祭など多数のイベントに出演経験あり。
② 地域赤十字奉仕団の活動報告 [出演：琴浦町東伯赤十字奉仕団]	○県内最大の地域赤十字奉仕団で、献血会場周辺での声掛けや献血者への手作りプレゼントの手渡しを実施。 ○その他、浦安小学校（JRC 加盟校）における防災教育参観日で非常食体験支援や防災学習に参画するなど精力的に活動。
③ 青年赤十字奉仕団の活動報告 [出演：鳥取看護大学学生赤十字]	○開学の年（平成 27 年）に鳥取看護大学学生赤十字奉仕団を結団。

奉仕団]	<ul style="list-style-type: none"> ○学内献血や献血セミナー開催への協力、街頭での献血呼びかけ等を実施。 ○その他、毎年、子ども向け工作イベントを実施。令和7年度はルワンダ赤十字社メンバーとの交流を行うなど幅広く活動。
④ 若年層献血推進動画上映	<ul style="list-style-type: none"> ○令和7年度に制作した「若年層向け献血推進啓発動画」を上映。 〔動画の概要〕 ・県内大学の献血推進サークルや鳥取看護大学学生赤十字奉仕団の皆さんに献血を始めたきっかけ、実際にやってみた感想等を語っていただき、視聴いただいた方へ、献血への関心を高め、献血を始める最初の一步となるよう制作。 ○今大会を契機に、若年層の献血推進活動が更なる推進することを祈念し、既登壇者(学生・生徒)によりメッセージ(R8 標語最優秀賞等)を披露。

※調整中のものもあり、今後変更の可能性あり。

企画展示案

【基本方針】

- 大会関係（標語・ポスター入賞作品等）に加え、献血推進活動、鳥取県の PR（食・観光）、本県の医療・福祉に関する紹介など本県の魅力を発信。
- あいサポート・アートとっとり特別展を同時開催。

企画展示案一覧（例）

	ブース	展示内容（例）
大会関係	標語・ポスター入賞作品	・R7 標語・ポスター募集事業の入賞作品の展示
	昭和天皇記念賞レプリカ	・受賞記念品、受賞内容紹介パネルの展示
	献血事業概要	・献血事業概要パネル（血液センター概要、献血者数の推移など）の展示
献血推進活動	若年層向け献血普及啓発事業	・集客施設でのイベント実績（R6. R7）、献血広報誌「あたり」配布等 ・書道パフォーマンス成果品の展示 ・まんが王国とっとりだより 18 号（献血推進サークル紹介等）配布
	献血街頭キャンペーンの取組紹介	・愛の献血助け合い運動期間中のキャンペーン取組み実績、参加校等の紹介、配布物等の展示
	献血セミナーの取組紹介	・献血セミナー実施校の紹介等
日本赤十字社関係	日赤活動紹介コーナー	・青少年赤十字（JRC）、地域の奉仕団等のパネルの展示
	献血関連体験コーナー	・献血 VR 体験、静脈の観察体験、ヘモグロビン数値の判定体験
大規模行事	「ぼうさいこくたい 2026in 鳥取」開催 PR	・「ぼうさいこくたい」の概要及び併催イベントの PR 等の展示 ※日本赤十字社社長が主催である防災推進協議会や防災推進国民会議の会長等を務められ、献血運動推進大会と同様、日本赤十字社が大きく関わる「ぼうさいこくたい」を PR し、参加を推進
新たな医療技術	医工連携、鳥取発の新たな医療技術等	・見本・パネル展示、シミュレーターを使用した次世代内視鏡体験等
障がい者施策	本県の手話施策等	・鳥取県の手話施策の歴史・取組の展示
	東京 2025 デフリンピックに関する展示	・東京 2025 デフリンピック鳥取県選手の紹介等
	手話のワークショップ	・鳥取大学手話サークルによる手話のワークショップ
	ミニ手話教室	・鳥取県聴覚障害者協会によるミニ手話教室
	あいサポート運動	・パネル、ポスター、パンフレット等の展示
観光 PR	白兔神社、赤猪岩神社	・パネル（白兔神社、赤猪岩神社の伝説（日本医療のルーツ）等）の展示
	県 PR（食・観光） 米子市 PR	・名探偵コナン、ゲゲゲの鬼太郎等まんがキャラクターパネルフォトブースコーナー、観光 PR 動画、パネル、県観光 VR、パンフレットの配架 ・パネル展示等による食パラダイス鳥取県の PR、パンフレットの配布 ・観光 VR・米子城 VR 体験
その他	日本生命による健康増進支援	・健康増進の支援に係る体験等
	鳥取県臓器・アイバンク	・臓器移植の普及啓発に係る展示

「あいサポート・アートとっとり特別展（主催：鳥取県）」を同時開催

※平成 27 年度から開催している鳥取県障がい者芸術・文化作品展「あいサポート・アートとっとり展」の歴代優秀作品（絵画等）を特別展として一堂に展示する。

第 6 2 回献血運動推進全国大会に係る参加者記念品について

令和 8 年 3 月
医療・保険課

○例年、全国大会では、歓迎の意を表すとともに開催県の魅力を知ってもらうため、参加者へ大会記念品を配布。

○令和 8 年度の本県大会では、県内でアート活動をしている障がい者とデザイナーが協力し、「フォント（書体）」や「パターン（絵柄）」を制作する「山陰ご当地フォントプロジェクト」の商品である「折り紙セット（因州和紙）」を記念品候補とする。

1 記念品の選定のポイント

- ・本県における先駆的な取組みの一つである「障がい者アート」の魅力発信が可能となり、ひいては、障がい者の工賃向上に寄与することが出来る。
- ・因州和紙は、国指定伝統的工芸品に指定されており、本県の伝統産業をPRできる。
- ・軽量の紙を材質とするため、参加者が持ち帰りやすい。

2 記念品候補

山陰ご当地フォント（障がい者アート×地元デザイナー）のデザインを使用した折り紙セット

- ・素材は因州和紙。6種類×各2枚で1,000円～1,500円
- ・大阪・関西万博「とっとりフェス～お祭り縁日～」のワークショップ（折り紙）や鳥取県ゾーンスタッフのスカーフでも活用。
- ・山陰ご当地フォントプロジェクト運営者の一般社団法人 COOD CREATERS（クッド クリエイターズ）が販売。



※左から、川上 敏郎さん（社会福祉法人もみの木福祉会／米子市）、植嶋 大輔さん（一般社団法人アートスペースからふる／鳥取市）、西尾 紀幸さん（鹿野第二かちみ園／鳥取市）、門脇 悟さん（あかり広場／米子市）、山本 美和さん（SOI STANCE（障害福祉サービス事業所）／米子市）、大野ヒカルさん（NPO 法人いるか／米子市）の作品。）

○先催県の例

回別	年度	開催県	記念品	単価
第 61 回	R7	宮城県	—	—
第 60 回	R6	岐阜県	美濃和紙カード入れ 	1,300 円
第 59 回	R5	千葉県	銚子ちぢみコースター 	1,200 円
第 58 回	R4	愛媛県	今治タオルハンカチ	935 円
第 57 回	R3	鹿児島県	屋久杉高級一膳箸 	1,500 円

令和8年度事業収支予算(案)

【収入】

(単位：千円)

科目	令和7年度	令和8年度	増減	内容
負担金	1,014	47,453	46,439	鳥取県負担金 41,453 日本赤十字社負担金 4,000 米子市負担金 2,000
繰越金	0	808	808	前年度からの繰越金
合計	1,014	48,261	47,247	

【支出】

(単位：千円)

科目	令和7年度	令和8年度	増減	内容
総務費	126	733	607	実行委員会・幹事会開催経費、 事務局運営費等
大会 事業費	81	47,528	47,447	企画運営等業務委託料 36,000 会場使用料 3,554 印刷製本費 803 記念誌作成料 660 記念品委託料 2,250 関係者旅費・報償費 483 その他 3,778
合計	207	48,261	48,054	

献血運動推進全国大会に向けた機運醸成の取組状況

1 鳥取県若年層向け献血普及啓発事業

(1) イベント「#はじめての献血応援プロジェクト My Debut 献血 未来へ繋ぐ、命のラリー」の実施

若年層の献血への関心を高め、初回献血に対する不安を取り除き、若年層の献血者数を増やすことを目的に、著名人を招いたイベントを開催。当日の来場者は約600名で、当日の献血者数はイオンモール鳥取北における1日当たりの献血者数としては平成26年度以降最多となった。

日 時：令和7年11月23日（日・祝） 午前11時から午後4時まで

場 所：イオンモール鳥取北

内 容：元バレーボール日本代表 木村沙織氏によるトークショー、鳥取東高等学校書道部による書道パフォーマンス、もっと知ろう！献血クイズ大会、献血推進サークル活動紹介、「けんけつちゃん」のぬり絵・折り紙のワークショップ、VR献血体験コーナーなど

当日の献血者数：89名（うち10～30歳代は39名）



＜＜木村沙織氏によるトークショー＞＞



＜＜献血推進サークル活動紹介＞＞



＜＜献血の実施＞＞

(2) 動画の制作

若年層により効果的な啓発を行うため、県内の献血推進サークルの学生等を登用し、「初めての献血」を応援する動画を制作。鳥取県の公式 YouTube チャンネルの「【公式】とっとり動画ちゃんねる」で公開中。

出演者：献血推進サークル学生等（内訳：鳥取大学12名、公立鳥取環境大学1名、鳥取看護大学2名）

鳥取県赤十字血液センター職員

内 容：献血デビューのきっかけ、献血デビュー後の思いの変化、献血推進サークルの活動内容、献血の流れ、献血デビューへの応援メッセージなど

時 間：【本編】4分27秒【ショート版】1分5秒



＜＜完成した動画＞＞



＜＜撮影風景＞＞

(3) 広報誌「あとり」の発行

令和6年度より、春の新入生歓迎シーズンと秋の大学祭に合わせ、県内大学献血推進サークル、鳥取県赤十字血液センターが協力して、若年層向けの献血啓発広報誌を作成。各大学サークルのSNSや鳥取県赤十字血液センターHP等でも発信している。

発 行：年2回（9月・3月）

部 数：1回あたり1, 500部程度

内 容：献血に関する情報発信や県内で活動する献血推進サークルの紹介など



《《広報誌「あとり」第3号 (R7.9.16 発行)》》



《《発行に向けた打ち合わせ会議の様子》》

2 県立図書館でのパネル展示の実施

期 間：令和8年1月14日（水）から令和8年2月27日（金）まで

場 所：鳥取県立図書館 1階（～令和8年2月27日（金）まで）

県庁ロビー（令和8年3月2日（月）以降～）

内 容：「標語」「ポスターデザイン」入賞作品、県内大学献血推進サークル作成の献血啓発広報誌「あとり」、若年層普及啓発事業、街頭キャンペーン、今年度制作した献血啓発動画の上映など



《《展示の様子》》

3 JR各駅等での街頭キャンペーンの実施

期 間：（鳥取駅）令和7年12月22日（月）午前7時15分から午前8時10分まで

（倉吉駅）令和8年 2月17日（火）午前7時30分から午前8時30分まで

（米子駅）令和8年 3月 4日（水）午前7時30分から午前8時30分まで

※令和8年4月以降も、JR鳥取大学前駅等で実施を計画。

場 所：県内のJR各駅 他

参加者：県内大学献血推進サークル学生、鳥取看護大学赤十字学生奉仕団に所属する学生、鳥取県赤十字血液センター職員、各保健所職員、当課職員

内 容：はたちの献血キャンペーン等の献血の呼びかけ、普及啓発物（絆創膏入りのポケットティッシュ）の配布



4 商業施設での啓発イベントの実施(予定のものを含む)

- 開催日：(東部) 令和8年3月22日(日) 午前10時から午後4時まで
(西部) 令和8年4月29日(水・祝) 午前10時から午後4時まで
- 場 所：(東部) イオンモール鳥取北 特設会場
(西部) イオンモール日吉津 メロディーコート1・2
- 内 容：○献血に関するパネル展示や献血啓発動画を活用したクイズラリー
- こども達の楽しめる企画
 - ・献血まねっこ体験(献血の模擬体験)
 - ・けんけつちゃんシールづくりなど
 - その他献血関連企画
 - ・献血メッセージボード作り
 - ・VR献血体験
 - ・静脈可視装置を使用して血管をしてみる体験 など
 - 献血の実施(鳥取県赤十字血液センターが実施)

5 まんが王国官房による献血推進まんが冊子の作成

「若年層への献血推進」をテーマに「まんが王国とっとりだより(まんが王国官房発行)18号」が発行され、県内学校(小中高)等へ配布

配布時期：3月中旬(発送済み)

発行数：13,370部

配布先：県内学校(小・中・高)、県内教育委員会事務局、県内観光協会・観光施設、県内外の観光振興課など計374団体

※県ホームページにも公開中

○発行されたマンガは、献血大会で掲示(※ポスター大に拡大)のほか、当課で実施する献血啓発イベント等で配布(チラシ印字等)を予定



6 その他(予定、検討中のものを含む)

上記以外にも、今後、以下の取組を予定。

- ・ラジオ(ダラズFM)での献血の取組紹介(4月22日放送)
- ・キニナルトットリでの献血特集(6月頃)
- ・献血運動推進全国大会ポスター、チラシの作成